



1頁：胃と大腸の検査を受けました  
2頁：2000夏 長崎から  
連載ものは夏休みを頂きました。

菊池内科ホームページ <http://www.kikuchi-clinic.com/>

## 開院2周年を迎えて

8月7日が立秋でしたので、暦の上ではとっくに秋になっているのですが、一つずつ年をとっているせいか、年々暑さが身にしみてきます。これからは朝夕冷え込んできますので、みなさまには体調の維持が大変でしょうが、くれぐれもご自愛下さい。

さて、当院は一昨年に開業し、この9月1日で、丸2年となりました。最初は、病院時代からのよしみで来ていただいている方がほとんどでしたが、その方達に紹介していただいた方、タウンページ(職業別電話帳)をみてこられる方、わずかですがインターネットをみてこられる方と、少しずつ患者さんも増えてまいりました。

病院・診療所がたくさんある中、当院を選んでいただき、感謝しております。みなさまの期待に添えるよう、がんばりたいと思いますので、これからもよろしくお願ひ申し上げます。

### アイティ-

世間では、**IT (Information Technology: 情報技術) 革命**とさわがれています。(某国の首相は「イット」と読んで笑いものになりました。)

犬の1年は、人間では7年にあたるとのこと、ITの進歩の速さは**ドッグイヤー**ともいわれます。ITの中心は、**インターネット**です。欧米に比べて日本ではインターネットの普及はまだまだで、「そんなの私たちには関係のない世界だ」と思われる方も多いのは事実でしょう。

ただ、銀行や証券会社では24時間年中無休(インターネットでは常識です)で、かなり安い手数料で振り込みや株式取引ができますし、航空券を予約すれば旅行会社へ行く必要もありません。医療関係では、さまざまな病気や病院の情報を得られます。(情報が多すぎて、その取捨選択が大変なくらいです。)

ごく近い将来に、みなさんもその恩恵を実感することでしょう。

その一方で、人手に頼らなければならない仕事も絶対になくなりません。医療・介護分野はその典型で、最終的には人と人の対応になりますから、間違いも絶対になくならないと思いますが、その分暖かみのあるふれあいが生まれます。最近の医療ミスの報道には、心が痛みますが、絶対にミスのないように心がけたいと思います。

今後、老人医療を中心に、健康保険制度の改革が行われます。どういう風にかかわるのか、まだぼんやりとしか見えませんが、どんな変化にも速やかに対応し、みなさまの健康を守っていきたく思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

ご意見ご要望がありましたら、遠慮なくお申し出下さい。  
インターネットをご利用の方は、電子メールでお送り下さい。

## 胃と大腸の検査を受けました

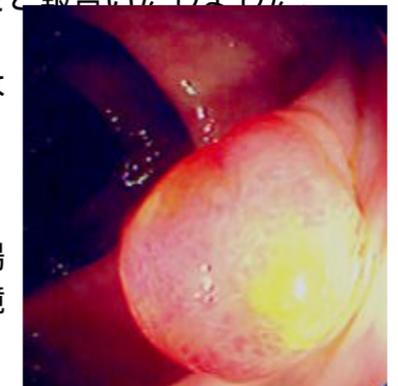
先月号でも予告しましたが、8月9日(水)に胃と大腸の内視鏡検査を受けました。当院に設備があっても、まさか自分ではできませんので、病院で信頼できる先生にお願いして受けてきました。

検査の準備段階からご報告します。(検査の手順は、当院とまったく同じです)

1. 前日、寝る前に下剤を3錠のむ。それまで、食事の制限は一切していません。夜中にお腹が痛くなって、眠られなかったらどうしようかと心配しましたが、結局何ともありませんでした。(実は、大腸の検査は今回が3回目なのですが、前日の下剤は、今回初めてのんだのです)
2. 午前9時45分、プラミール・シロップ(腸の動きをよくするくすり、シロップなので甘い)を30mlのむ。朝食を食べていないので、とてもおいしかった。もちろん、午前9時から診察を始めています。
3. 午前10時、洗腸液(1800ml)を飲み始める。コップ1杯(180ml)を10分毎に10回のむ予定で開始。第一回の排便がある直前が、腹部膨満感があり、一番しんどいときです。11時10分に8回目を飲んだ後、第一回の排便がありました。ほぼ予定通り、11時30分に飲み終わりました。午後1時20分までに4回の排便があり、これで準備完了です。
4. 午後3時過ぎから、検査を受けました。穴あきパンツにはきかえて検査ベッドに横になり、鎮静剤の注射のために点滴を受けたあと、胃カメラのためのどのの麻酔を開始。左横向きになり、胃カメラ開始。ピロリ菌検査のため、胃の粘膜を1か所とられました。(所要時間は、6.7分です)次に、大腸検査のため、頭と足を逆向きにしたあと、左横向きになり検査開始。途中(おそらく腸の曲がり角)で、お腹が張ってきて少し苦しかったですが、注射が効いているせいか痛いとは感じませんでした。(所要時間は15分くらい)
5. 検査結果：胃の方は、軽い胃炎だけで、ピロリ菌はいませんでした。大腸は、3年目と昨年の2回、ポリープがあり切除手術(カメラでその場でとってもらいました)を受けましたが、今回は異常ありませんでした。これで、また1年は安心して過ごせそうです。以上、体験談をご報告いたしました



写真左：内視鏡の先端。太さは胃用は約1センチ、大腸用は約1.5センチです。



写真右：昨年発見された、大腸ポリープ。この程度なら、内視鏡で簡単にとれます。

先月号のクイズの答

8月7日(月)の診療開始は午前10時30分の予定でしたが、実際は11時になってしまいました。  
お忙しい中、お待ちいただいた患者さんには、心からお詫び申し上げます。

「2000夏 長崎から さだまさしコンサート」  
(ゲスト：加山雄三、小林幸子、BEGIN、うたいびとはね、佐田玲子) に行ってきたのです。

NHKの衛星放送でも生中継されましたので、ご覧になった方もあると思いますが、毎年8月6日(広島の前爆の日)に、もう一つの被爆地である長崎から、平和を祈るメッセージを発信するコンサートです。

暑かったですが、よかったです。来年は休診させていただくかもしれません。

長崎出身の佐田雅志さんが呼びかけて、「長崎ピーススフィア 貝の火運動」を行っています。  
世界の紛争と平和に関する情報館「ナガサキピースミュージアム」が来年春開館を目標に建設されます。

この運動のホームページ と問い合わせ先  
<http://www.edonagasaki.ne.jp/nps/>

「ナガサキピーススフィア 貝の火運動事務局」  
〒850-0831 長崎市鍛冶屋町6-32 三浦ビル2F  
電話 095-827-7878 ファックス 095-826-5995

募金にご協力下さい(郵便振替)口座番号 01890-9-44405  
加入者名 ナガサキピーススフィア貝の火基金

僕たちが今この日本で平和に暮らしているうちにも、どこかで命を落としている青春があるということがとても気がかりなのです。

世界中がいまどうやって苦しんでいるかを、我々も一緒に痛みを感じてゆけるようなモニュメントを造ろうというのからスタートしたのがこのピーススフィアです。

そして今、与えられているこの平和の一瞬がなぜ与えられているのかを一緒に考える空間を創ろう、というのが僕とピーススフィアの仲間たちの願いです。

このささやかな平和のための運動に力を貸してください。

1995年8月 発起人代表 さだまさし



インフルエンザの予防接種

インフルエンザの予防接種の予約受付を開始しました。接種は、10月末頃からの予定です。(詳細は8月号をご覧ください)

昨年までは2回受けて頂きましたが、

13才以上で、

昨年、予防接種を受けたか、インフルエンザにかかった方は1回の接種で十分な効果が期待できるため、1回で構いません。

12才以下の方は今まで通り2回の接種が必要です。

ただし、インフルエンザワクチンでは普通の風邪の予防はできません。  
また、今年流行するインフルエンザの型と合わなければ効果がない場合もあります。

接種料金(予定) 当院に一度でもかかったことのある方は、( )内の料金です。

1回目：2500円(2300円) 2回目：2300円

2人以上で同時に受けられる場合(1人につき)

1回目：2000円(1800円) 2回目：1800円

おとな1人と子ども(12才以下)2人あるいは

子ども(12才以下)3人で同時に受けられる場合(1人につき)

1回目：1700円(1500円) 2回目：1500円

広報誌のバックナンバーについて

今までの広報誌をお読みにになりたい方は、受付にお申し付け下さい。

インターネットで当院のホームページでもご覧になったり、印刷したりできます。そのためにはアドビ社の「アクトバット・リーダー」というソフト(無料)が必要です。詳細はホームページをご覧ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9~12							×
午後4~7			×			×	×

菊池内科(内科・消化器科)

〒581-0003 八尾市本町7-11-18 八尾メディカルアベニュー2F

電話 0729-90-5820

ファックス 0729-90-5830